**竜ヶ渕**

天狗滝の下にある静かなこの淵の水は、晴れた日に太陽の光に照らされて鮮やかな青色を帯びて見える。これは、菊池渓谷の川底の大部分を占める比較的淡い色の岩の上を、ミネラル分をほとんど含まない澄んだ水が流れることで生まれる色である。竜ヶ渕の名は、深い水面に龍が潜んでいるという地元の伝説に由来している。この辺りからより長い散策路を登っていくと、ケヤキやカエデの木陰に「キツネノカミソリ」（Lycoris sanguinea）と呼ばれる彼岸花の一種が生えている。春先、この植物は細長い葉を出し、その縁は鋭いカミソリに似ていることから、キツネが森を歩き回るときに毛並みを整えるのに使われると想像された。オレンジ色の花は、葉がすべてしおれた後の8月に咲く。